

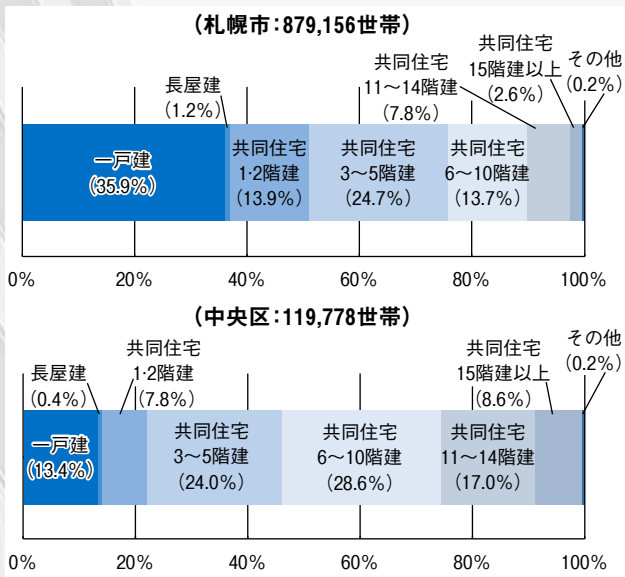
日よころからつながりを

マンション生活を考える

多くの区民が暮らしている「マンション」(左表)。利便性の高い地域に建設され、防犯の水準も高く、戸々の世帯のプライベートが守られるという利点がある一方で、地域の世帯やマンション内において人と人とのつながりが希薄となったり、地震などの災害時にマンション特有の備えが必要となったりする、といわれています。

今月号では、このようなマンションが抱える課題に対する地域の方の取り組みと、災害への備えについて特集します。

●住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数 (2010(平成22)年10月1日現在)



(札幌市統計書 平成24年版)

地域との交流

「町内にマンションが建ち、引っ越してきた多くの人々と、どのようにつながりを持ったらいいのか」

幌西地区の幌西第15分区分内会は、区内でも有数の人口と28棟のマンションを抱えながら、およそ9割の世帯が加入しています。この地域で「顔の見える町内会づくり」を目指して、日々さまざまな活動に取り組む村井和夫会長と高口通雄副会長にお話を伺いました。

「顔の見える町内会」を実現するための取り組みは？



▲高口副会長(左)と村井会長(右)

「談笑会」やお花見、登山、パークゴルフ大会、日帰り旅行など、一年を通じて多くの行事を実施しています。盆踊り大会では、参加者を増やすため3年前から縁日やフリーマーケットも併せて行っています。お花見の後はタクシーで送るなど、参加しやすくなる工夫も取り入れました。とにかく行事に来てもらい、お互いの顔を知るきっかけになれば、と思っています。また、交流を重ねる中で地域の新たな担い手を発見することもできました。ある人が町内から引っ越す時に「行事には今後も参加したいので、町内会費は払うから名前は残しておいてほしい」というありがたい申し出もありました。

行事以外にはどのようなことをしていますか？

学校が夏休みの期間はもちろん、元旦を除き一年を通じて地区内の公園でラジオ体操を実施しています。この活動は「いつもは来て



▲毎朝30人ほど参加するラジオ体操

いるあの人が今日は来ていない」とか「歩道が滑りやすそうになっていた」などの情報を持ち寄る場にもなっており、地域の見守り活動につながっています。また、会場の公園は子どもたちの遊び場でもあるので、毎朝ごみや小石を拾ったり、冬は雪山などの危険箇所が無いか確認したりしています。

他にもパークゴルフやマーじゃん、歌謡曲愛好会などのさまざまな同好会も活動しています。中でもガーデニングサークル「陽だまり」には、啓明バスターミナルのコミュニティガーデンや公園内の花壇の整備など、きれいなまちづくりに協力してもらっています。



▲バス乗降客からも好評です！

取り組みによって変化はありましたか？

多くの行事を実施することでマンションからたくさんの人に出てきてもらい、そこで顔見知りになった方と、普段道で会ったときにはお互いにあいさつをする関係になることができました。そのことに大きな手応えを感じました。これからも地域の方々と連携し、いろいろな活動に取り組んでいきたいですね。